

平成 27 年度都市景観大賞「都市空間部門」大賞 (国土交通大臣賞) 北彩都あさひかわ地区

受賞者／旭川市、北彩都あさひかわまちづくり推進会議 (加藤源、高見公雄、ウィリアム・ジョンソン、篠原修、内藤廣、大矢二郎)

北彩都あさひかわとは

「都心ルネッサンス旭川」の狙いのもと、1992年頃より 20 数年間、このデザインチームが継続的に係わり旭川駅、河川敷を含む 100 数十 ha の整備、都市デザインを一体的に進めたもの。

総括：加藤源、高見公雄、旭川市

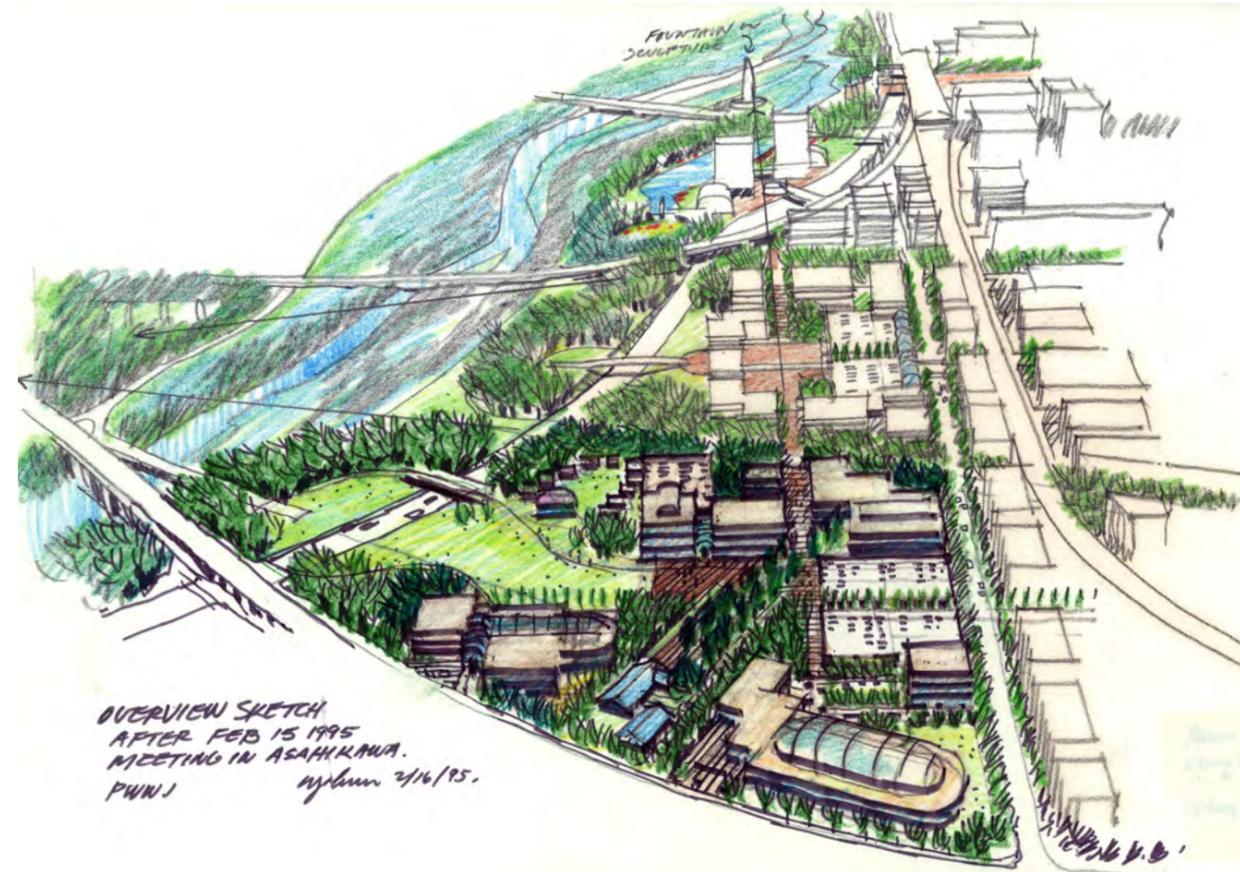
空間基本構想：ウィリアム・ジョンソン

土木デザイン：篠原修

駅舎、駅前広場設計：内藤廣

ランドスケープ：D+M、高野ランドスケープ

橋梁デザイン：大野美代子、中井祐 (以上敬称略)



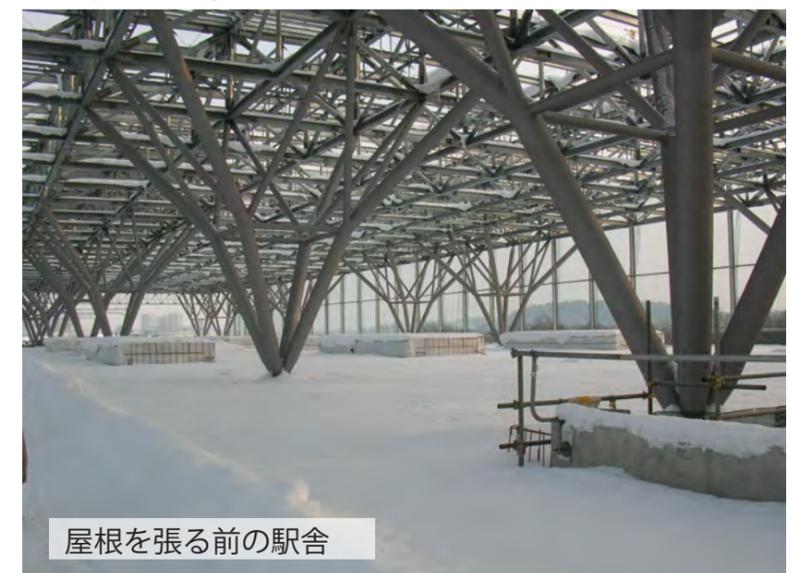
ランドスケープから街をつくる

まち・川・駅を一体にデザインできる好機だから、川と一体的な市街地をつくろう。そう「ランドスケープから街をつくる」との私たちの考え方に、ビルジョンソンはすぐにこれらの絵を描いて日本にやってきた。



川のある駅

JR北海道と大調整の末、駅舎設計者は都市側で指名できることとなった。加藤は内藤さんを挙げ、ここにその後日向駅や高知駅へ展開する篠原修+内藤廣の組み合わせが誕生した。



屋根を張る前の駅舎



2001年

- ・国鉄跡地など約 86ha の土地区画整理事業 (市)
- ・函館本線など旭川駅の高架化 (街路事業、道)
- ・隣接する忠別川の環境整備事業 (国)
- ・忠別川への 3 本の新橋架橋 (道、市)
- ・旭川第一合同庁舎建設 (国)



全体計画図

北彩都あさひかわ

